



防 災 の 橋

東京都立墨東特別支援学校
災害対策委員会

目次

- [1] 災害対策委員長 挨拶
- [2] 令和5年度 災害対策委員会
- [3] 安全指導に関する年間計画
- [4] 墨東特別支援学校の地域連携
- [5] 学校防災教育推進委員会
- [6] 訓練の様子「教職員総合防災訓練」(令和5年8月22日)
- [7] 付録 本校の避難経路と防災用具

~~~~~

### [1] 災害対策委員長挨拶 校長 田村康二郎

## 大災害に直面した全国の特別支援学校が得た教訓を生かして

誰もが何処にいても、突然の大災害に見舞われるかもしれません。障害の有無、軽重に関わらないのです。だからこそ、日ごろの備えが大切です。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災時、特別支援学校で唯一の長期避難所となったのは福島県立郡山養護学校(肢)でした。当時、私は全国組織を取りまとめる立場であったことから、震災直後から現地で指揮を執られる渡邊校長先生と連絡を取り合い、実際にお訪ねして、リアルな状況を見せていただきました。体育館の段ボールで区切られたスペースには、肢体不自由児を抱えて身動きのとり辛い児童・生徒の御家庭、さらに卒業生の御家族もお見かけしました。学校全体を福祉避難所として、県災害本部からの要請を受け入れて、後期高齢者他の多様な方々を体育館だけでなく廊下も含めて全校舎で全員を受け入れて避難所運営をされている光景には言葉を失いました。また、直後の食糧・衣料品不足を脱しつつある中で、今後は、被災者支援に自由に使える現金が必要だということも教えていただきました。そこで全国の肢体不自由校の校長先生方を通じ全国の教職員、加えて各校 PTA 会長を介して全国の保護者会員に呼び掛けていただき、義援金を募りました。結果として総額1千万円に及ぶ義援金を直接お渡しする事が実現できました。「肢体不自由児・医ケア児を抱える身だからこそ、その大変さが分かります。」とのお手紙が添えられている保護者からの義援金も多数頂戴しました。追加の義援金を現地でお渡しする際にも、避難所(体育館)の状況や直後からの支援物品(食料・衣料品・おむつ・生理用品他)の充足の経過等もつぶさに教えていただきました。さらに三陸地域にも回り、全損に近い被害を受けた6校(小・中・高)を回り、津波が直撃した校舎状況も実際に把握させていただきました。幸いこの6校では教職員の果敢な判断と責任感ある指導、そして保護者との信頼感で結ばれた協力関係により、児童・生徒一人の命も失われていないことも知り、教職員の使命感の強さを再認識できました。

その後の大規模災害「平成28年4月に発生した熊本大地震による熊本県立かがやきの森支援学校避難所運営」「平成30年7月発生 of 西日本集中豪雨による岡山県立まきび支援学校水没」の各現場にも直後に駆けつけ、全国の皆さんから託された義援金をお渡しすると共に、当事者である校長先生から被災時の命を守る指揮の実際について学ぶことができました。

残念ながら、予期せぬ大災害が続いています。3.11の被害を教訓に都教育委員会では、全都立高校を対象に宿泊防災訓練を組み込んだ総合防災訓練を行うようになりました。その後、全都立特別支援学校に拡大して今日に至っています。被災した特別支援学校の対応から学ばせていただいた日頃の防災意識と被災時ノウハウをもとに、墨東特別支援学校は開校以来、総合防災訓練を積み重ねながら充実を図ってきました。この「墨東防災の学び」の配布も保護者の多くの声を力にして始めた取り組みです。予期せぬ災害に備え、本校の防災機能や備蓄品等の情報を保護者の皆さんと共有していきましょう。御覧ください。

## [2] 災害対策委員会

### 【災害対策委員会メンバー】

|    | 職名        | 職員氏名   | 担当              |
|----|-----------|--------|-----------------|
| 1  | 校長        | 田村 康二郎 | 災害対策委員長         |
| 2  | 副校長       | 榎本 学   | 災害対策副委員長（防火責任者） |
| 3  | 副校長       | 吉田 朋之  | 本校通学籍担当         |
| 4  | 副校長       | 景山 陽子  | 分教室・訪問学級担当      |
| 5  | 主幹教諭      | 高橋 昭博  | 生活指導部主任         |
| 6  | 主幹教諭      | 柚木 秀彦  | 教務主任            |
| 7  | 主幹教諭      | 熊井戸 佳之 | 小学部主任           |
| 8  | 主幹教諭      | 林田 麻里子 | 中学部主任           |
| 9  | 主幹教諭      | 高澤 昇太郎 | 高等部主任           |
| 10 | 主幹教諭      | 袖山 慶晴  | 情報担当            |
| 11 | 主幹教諭      | 加藤 尚   | 特別支援教育コーディネーター  |
| 12 | 指導教諭      | 矢野 祐子  | 保健担当            |
| 13 | 経営企画室長    | 瀬倉 学   | 渉外委員長           |
| 14 | 経営企画室課長代理 | 望月 美予子 | 渉外副委員長 施設担当     |
| 15 | 主任教諭      | 梅原 諒   | 生活指導部 防災主任      |
| 16 | 主任教諭      | 岡名 沙輝  | 生活指導部 安全教育主任    |
| 17 | 主任教諭      | 佐伯 かおり | 生活指導部 スクールバス主任  |

災害発生時には状況を判断し、災害対策委員会を開設します。校長を委員長とし、副校長や主幹教諭、生活指導部が中心となり、災害状況の確認や今後の判断、指示を行います。災害対策本部では右図のフローチャートを使用し、対応の確認をしています。災害発生時は迅速な対応が必要な反面、確認しなくてはいけない事柄もたくさんあります。必要な情報と担当者を視覚化し、適時確認をすることで、安全な避難ができるよう努めています。

ます。

また、点呼確認用の児童、生徒や教職員の名前が入ったマグネットとホワイトボード、大規模災害時のマニュアルやメガホン等の必要物品は災害対策BOXで管理し、校長室に設置しています。毎回の避難訓練で出た課題をもとに、フローチャートや災害対策BOXの内容を改善して、「いざ！」というときに備えています。

# 墨東特別支援学校 非常災害時の対応（地震）



### [3] 本校の防災教育への取り組み

#### 【安全指導に関する年間計画】

|       | 日にち                   | 対象            | 内容                     | 場所            | 備考                                                                                         |
|-------|-----------------------|---------------|------------------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一学期   | 4月 4日 (火)             | 教職員           | 生活指導部研修<br>(年度当初確認)    | 体育館           | 避難経路・災害発生時の初期動作等の確認                                                                        |
|       | 4月19日 (水)             | 児童・生徒<br>教職員  | 避難訓練①<br>地震・教室避難       | 各教室           | 地震発生時の初期動作と本部への点呼報告を確認                                                                     |
|       | 4月24日 (月)             | 保護者<br>教職員    | さくら連絡網訓練①<br>登録確認      |               | さくら連絡網の登録状況の確認                                                                             |
|       | 5月10日 (水)             | 保護者<br>教職員    | さくら連絡網訓練②<br>アンケート機能活用 |               | さくら連絡網のアンケート機能の使用練習                                                                        |
|       | 5月15日 (月)             | 児童・生徒<br>教職員  | 避難訓練②<br>火災(雨天時:地震)    | グラウンド         | 火災発生時の避難ルートを確認                                                                             |
|       | 6月 1日 (木)             | 全員            | 伝言ダイヤル訓練①              |               | 災害伝言ダイヤル1771の利用方法を確認                                                                       |
|       | 6月 9日 (金)             | 教職員           | 応急救護研修                 | 体育館           | 心肺蘇生法・AEDの使用、消防への通報についての研修                                                                 |
|       | 6月27日 (火)             | 児童・生徒<br>教職員  | 避難訓練③<br>大雨洪水          | 体育館           | 浸水による垂直避難の方法を確認<br>第一回防災教育推進委員会                                                            |
|       | 7月12日 (水)             | 中学部<br>高等部    | セーフティ教室①               | 体育館<br>各教室    | SNSの活用についてと交通安全についての講演<br>SNSの活用では保護者参加の質問会を開催                                             |
|       | 7月14日 (金)             | 児童・生徒<br>教職員  | 避難訓練④<br>地震・放送機器の故障    | 体育館           | 地震により放送機器の故障<br>無線を使用した指示伝達と避難方法を確認<br>AM:小学部低学年 PM:その他の学部                                 |
|       | 1学期中に実施               | A課程<br>児童・生徒  | 防災教育                   | 各学部           | 防災備蓄品の紹介<br>災害伝言ダイヤルの使用方法を確認 等                                                             |
| 夏季休業中 | 8月22日 (火)             | 教職員<br>地域住民等  | 総合防災訓練                 | 2階フロア         | 大規模災害時避難体制(宿泊の実施・帰宅ステーションや福祉避難所の開設等)の確認<br>マニュアルの確認、整備<br>防災備蓄品の確認<br>地域住民(本校PTAを含む)との情報交換 |
|       | 9月15日 (金)             | 全員            | 伝言ダイヤル訓練②              |               | 災害伝言ダイヤル1771の利用方法を確認                                                                       |
| 一学期   | 9月29日 (金)             | 児童・生徒<br>教職員  | 避難訓練⑤<br>地震・引渡し        | 体育館<br>各教室    | 大規模災害発生によりスクールバスの運行中止を想定し、安全な引渡し方法を確認                                                      |
|       | 9月29日 (金)<br>~30日 (土) | 保護者           | さくら連絡網訓練③<br>災害情報受け取り  |               | さくら連絡網による災害発生時の連絡受け取り方法の確認                                                                 |
|       |                       | 保護者           | 引取り訓練                  | 体育館<br>各教室    | 大規模災害発生時の学校までの経路を確認<br>安全な引取り方法についての確認                                                     |
|       | 9月29日 (金)<br>~30日 (土) | 中学部1年生<br>教職員 | 一泊二日宿泊防災訓練             | 本校            | 講演会や初期消火体験、災害備蓄食料での食事等、大規模災害時の生活を体験<br>大規模災害時の宿泊体制や食事提供等について確認<br>第二回防災教育推進委員会             |
|       | 10月16日 (月)            | 児童・生徒<br>教職員  | 避難訓練⑥<br>火災・二次避難       | 東京ガス<br>グラウンド | 火災発生時、二次避難場所である東京ガスグラウンドまでの避難経路を確認                                                         |
|       | 10月25日 (水)            | 小学部           | セーフティ教室②               | 体育館           | 歩行シミュレーターを使用した、交通安全についての講演と体験                                                              |
|       | 11月7日 (火)             | 児童・生徒<br>教職員  | 不審者対応訓練                | 各教室           | 不審者が学校に侵入した際の対応方法や避難時の基本行動などを確認<br>放課後、教職員向け                                               |
|       | 11月20日 (月)            | 児童・生徒<br>教職員  | 避難訓練⑦<br>Jアラート         | 各教室           | Jアラートが発令された場合の避難行動を確認                                                                      |
|       | 12月21日 (木)            | 避難訓練          | 避難訓練⑧<br>火災・防火扉        | グラウンド         | 火災発生時、防火扉が閉まった状態での避難経路を確認                                                                  |
| 二学期   | 1月12日 (金)             | 児童・生徒<br>教職員  | 避難訓練⑨<br>地震・抜打ち        | 体育館           | 抜打ちによる避難訓練                                                                                 |
|       | 2月 1日 (木)             | 全員            | 伝言ダイヤル訓練③              |               | 災害伝言ダイヤル1771の利用方法を確認                                                                       |
|       | 2月 9日 (金)             | 児童・生徒<br>教職員  | 避難訓練⑩<br>スクールバス救護      | スクールバス<br>駐車場 | スクールバスが運行できない状況を想定し、救護物品や避難経路を確認                                                           |
|       | 3月 5日 (月)             | 児童・生徒<br>教職員  | 避難訓練⑪<br>火災・抜打ち        | グラウンド         | 抜打ちによる避難訓練                                                                                 |

## 【毎月の避難訓練実施計画】

令和5年度 引渡し（保護者による引取り）訓練実施要項（抜粋）

1 ねらい

- (1) 避難訓練：地震が発生した時の避難の仕方を練習する。
- (2) 緊急時における保護者への引き渡しの方法を確認する。
- (3) 防災教育：児童・生徒に備蓄食料品等を見せ、災害に備えて必要なものを考える。

2日 時

令和5年9月29日（金）

10:25 ～ 11:00 避難訓練（体育館に避難）

3 想定

江東区震度6強の地震が発生、ラジオ・インターネット等の情報によると、震源は東京湾沖、津波の心配はない。交通機関の混乱が予想される。（3・11の東京の状況を想定）

4 場所

体育館

5 流れ（○=言葉 ●=行動）

| 時間    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 教職員、児童・生徒の動き                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9:55  | ●生活指導部主任<br>「今から避難訓練を始めます。大きい音が鳴ります」<br>企画室から緊急地震速報音を流す。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | その場で児童・生徒の安全確保をする。避難口（窓・ドア）を確保する。                                                                                                                                                                                                                                       |
| 9:57  | ○副校長<br>「揺れがおさまりました。児童・生徒のみなさんは、余震に備えその場で待機してください。」<br>※2回繰り返す<br>「災害対策会議を開きます。<br>災害対策会議のメンバーは校長室へ集合してください。<br>学部主任、主幹は、担当エリアの被害、避難経路の状況を本部に報告してください。」<br>「自立活動部は、校舎内のスロープを巡視し本部に報告してください。」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 10:05 | 災害対策本部（校長室）進行：生活指導部主任<br>「これから災害対策会議を開きます。」<br>① 災害の状況確認（副校長）<br>「江東区震度6強の地震が発生、ラジオ・インターネット等の情報によると、震源は茨城県沖、津波の心配はない。交通機関の混乱が予想されます。」<br>② ライフラインの確認（経営企画室長）<br>「電気は使えているが、水道、ガスも供給が止まっている」<br>③ 児童・生徒の同勢状況確認（各学部主任）<br>④ 校内経路の状況把握（各巡視担当）<br>「1F2F図書コーナーの本などが散乱」「2Fスロープガラスにヒビ、破片あり」<br>⑤ 避難行動の検討と確認（生活指導部主任）<br>「今後余震が続く恐れがあり、児童・生徒の安全確認と今後の対応を周知するため、一度体育館へ避難」<br>スロープのガラス除去作業→屋内スロープを使っての体育館避難<br>⑥ SBの検討「震度5以上の為運休」<br>⑦ 給食の対応「給食の提供は終了（想定）」<br>⑧ 緊急連絡の検討（生活指導部主任）<br>体育館への全校避難終了後に担当者へ依頼<br>⑨ 対応方針確認、決定（高橋→田村校長）<br>・震度5以上のため、スクールバスの運行中止<br>・児童・生徒は保護者引取りにより下校<br>・授業は中止し体育館に避難、学年掌握に切り替え<br>・避難完了後、その後の対応策を検討<br>・全校体育館避難と同時に本部を体育館に移行<br>「以上の対応で今後の避難指示を出してもよろしいでしょうか。」<br>→校長の了承 | 災害対策本部メンバー<br>校長、副校長、企画室長、主幹教諭、SB担当、ICT情報担当、保健主任、生活指導部防災担当、自立活動<br>本部にて次の指示を受ける<br>次の全校指示が出るまで、児童・生徒の安全を確保、避難準備をする（各グループでMT中心に指示だし）。<br>・避難準備<br>A：ドアを開け、出口を確保する。<br>B：児童・生徒は車いすに乗車、頭巾・ヘルメット、タオル・ハンカチを身に付ける。<br>C：独歩の避難用車いす確認<br>D：避難体制を確認する。<br>※状況把握終了後必要に応じて教室の安全確保へ |
| 10:07 | ●副校長<br>「校内にいる児童・生徒・保護者の皆さんは、体育館に避難を開始してください。訪問学級、分教室の教職員は一階スロープに向かい、生活指導部の指示に従って応援してください。」<br>体育館避難<br>・本部はステージ側、全校集会と同様に集合、点呼報告                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 児童・生徒を体育館にて掌握<br>体育館に本部設置：生活指導部主任<br><br>●学年毎に一列で並ぶ。<br>体制が整った学年から、児童生徒の見守り、応援の役割分担をし、行動する。応援はスロープに向かい、避難を手伝う。<br>避難後、教職員はしゃがむのが基本。                                                                                                                                     |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                         |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>○本部用グッズ持ち出し<br/>校長、副校長、生活指導部主任</p> <p>●緊急連絡先ファイル持ち出し<br/>副校長</p> <p>●出席簿の持ち出し（2名）<br/>第一職員室：生活指導部<br/>第二職員室：生活指導部<br/>出席簿を持ち出し後、児童に戻る</p> <p>○さくらメール：副校長<br/>○伝言ダイヤル：防災ライン主任</p> <p>点呼避難報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終巡視者→生活指導主任</li> <li>・学部報告：児童・生徒、教職員、保護者、講師、看護師等<br/>学年主任→学部主任→生活指導主任</li> <li>・保健室：養護教諭、看護師（学部報告も確認）<br/>養護教諭→ホワイトボード→生活指導部主任</li> <li>・企画室：企画室、支援員、調理員等<br/>室長（ホワイトボードで確認）→生活指導部主任</li> <li>・訪問・分教室教職員：在宅、病院訪問、分教室在校者<br/>在校教職員→担当副校長→生活指導部主任<br/>副校長は、報告完了を生活指導部主任と共有<br/>校長にも、同様に完了を伝える</li> </ul> | <p>○今年度より点呼方法を変更<br/>ホワイトボードは緊急持ち出しBOX内<br/>学年主任は学部主任とホワイトボード調整<br/>完成したら生活指導部主任に報告</p> |
| 10:15 | <p>○生活指導部主任<br/>「今回の避難時間は〇〇分でした。<br/>「最後に校長先生からのお話です。」</p> <p>○校長<br/>「講話」</p> <p>○生活指導部主任<br/>「今日最後の訓練は、家族や代理の方が迎えに来た時に、間違いなく引渡す方法を確認します。<br/>引き渡し開始は、14:00です。<br/>引き渡し場所は、小学部（体育館）<br/>中学部（南棟2F）<br/>高等部（北棟3F）<br/>放送を聞いて、13:50までに引き渡し場所に集合してください。」</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                         |

夏休みを除き、本校では毎月一回の避難訓練を行っています。年間計画をもとにその年の児童・生徒の実態や社会情勢を鑑みながら内容を考え、実施要項を作成しています。アンケート集約し、改善できる内容はどんどん取り入れています。

### 【今年度 教職員アンケートからの改善点】

○毎回同じ時間に訓練を行っている（医療的ケアの対応や授業時間のため）が、実際はいつ起こるかわからない。様々な想定が必要ではないか？また、時期についても再検討が必要。

⇒今年度7月の訓練は午後に行った。1便で下校している学年もあったため、児童がいない教職員の動き等、全員で訓練しているときには発見できない課題が見え、次に生かせる訓練になった。

⇒洪水訓練を二学期に行っていたが、降水量が多くなる夏に向けて6月に変更。昨年度までは津波で行っていたが、より発生率の高い大雨・洪水の訓練に変更。

○スクールバス救護や不審者対応訓練では、それぞれのバスコースであったり教室退避と不審者対応であったり、それぞれが分かれて行われるため、お互いに何が行われているのかわからないため、反省を読んでもフィードバックが感じられない部分がある。

⇒それぞれの様子を撮影し、生徒下校後に研修会を実施。不審者対応訓練では警察署の方をお招きし、さすまの使い方を体験したり、質問に答えてもらったりした。

[これからの課題]

○訓練は基本的に全員がそろっている前提で行っている。担当に当たっている人がいなかったり、けがをして動けなくなってしまったりといった、もっと細かい想定をした訓練を行っていく。

## [4] 墨東特別支援学校の地域連携

### 【関係機関】

#### ○警視庁深川警察署

防災訓練の視察・アドバイスやセーフティ教室の講師、不審者対応訓練では犯人役としての参加、研修の講演など、幅広い場面で御指導・御協力をいただいています。警視庁のマスコット・ピーポくんも大人気です。



〒135-0042

所在地：東京都江東区木場3丁目18番6号

電話：03-3641-0110(代表)

#### ○東京消防庁深川消防署 森下出張所

教職員の心肺蘇生法研修講師、防災訓練の視察、アドバイス、初期消火体験など、消火と救急のプロフェッショナルとして丁寧に御指導いただいています。また、消防写生会では、毎年消防車で駆けつけてくださり、児童も目を輝かせて写生に取り組んでいます。



〒135-0004

所在地：東京都江東区森下五丁目1番4号

電話：03-3631-0119

#### ○江東区総務部危機管理室 防災課

地域の福祉避難所として指定を受け、災害備蓄品の納入や定期的な視察を行っています。また、避難訓練の視察、アドバイスや防災に関する最新の情報提供をいただいています。

#### ○東京ガス 深川グラウンド

火災時の第二次避難場所として連携をしています。毎年の避難訓練では、職員の方も横断歩道まで視察をしてくださったり、卒業式や入学式では駐車場をお借りしたりすることもあります。



#### ○猿江二丁目町会

地域の中の学校として、学校運営連絡協議会や学校防災教育推進委員会などで来校していただき、多岐にわたって御助言をいただいています。今年度からは総合防災訓練の見学をいただいたり、本校からも地域の防災訓練に参加させていただいたり、新型コロナウイルス感染症の拡大以前に戻るよう、徐々に地域交流を再開しています。大雨洪水による浸水時には本校3階を避難場所として開放する協定を結んでいます。

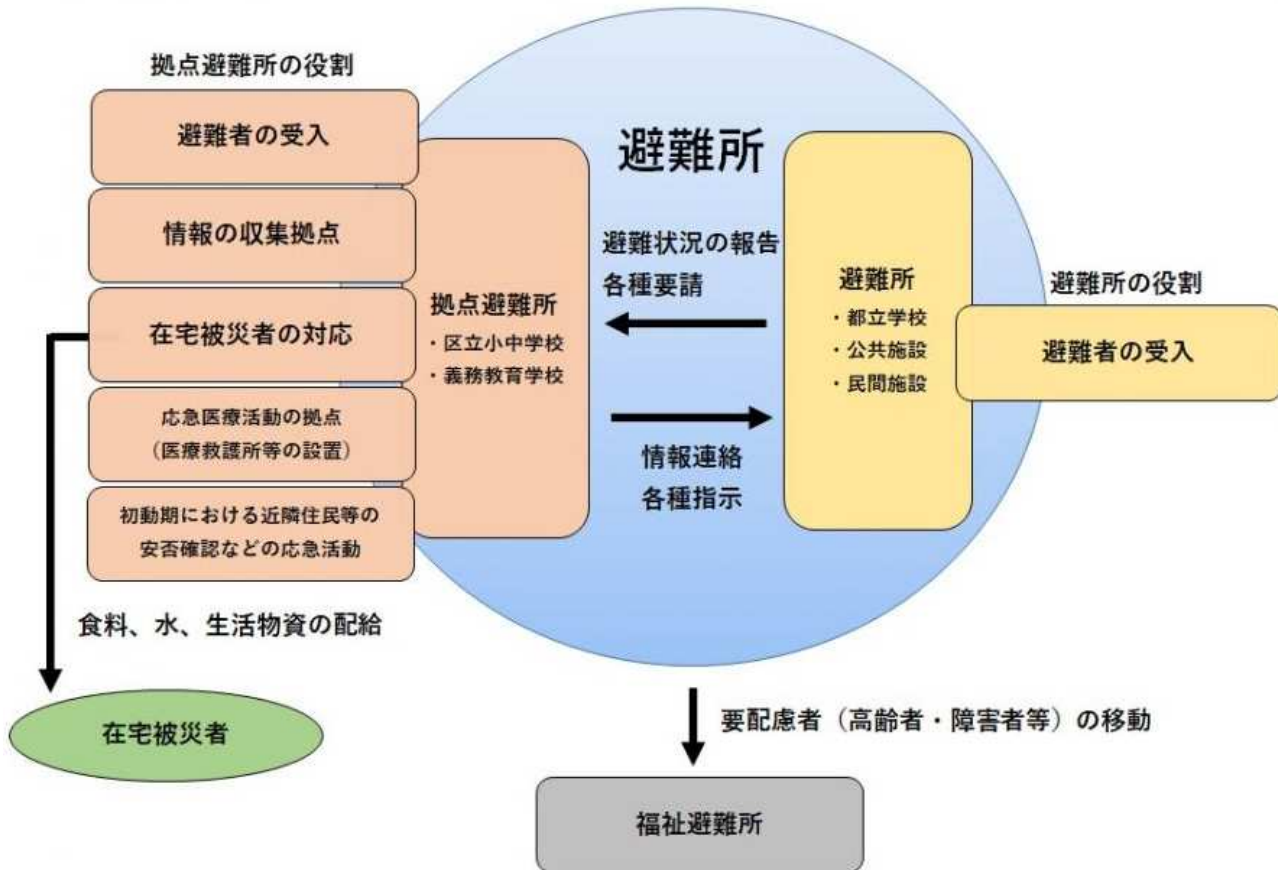
### 【災害時帰宅支援ステーション】

本校では、発災による交通遮断の際に徒歩で帰宅する方々への公的支援として自立活動室や保護者駐車場等に「災害時帰宅支援ステーション」を東京都の防災対策の一環として開設します。

※「東京都災害時帰宅支援ステーション」は徒歩による帰宅者に対する支援の一環として、島しょを除く全都立学校及び東京武道館を災害時帰宅支援ステーションとして位置付けています。ステーションでは飲料水、トイレ、テレビ及びラジオからの災害情報の提供を行うこととしています。コンビニエンスストアやガソリンスタンド、ファミリーレストラン等も同じ役割を担います。これらは東京都防災マップで検索することができます。(東京都防災ホームページより抜粋)

### 【福祉避難所】

本校では、大規模災害時に江東区の指示を受けて「江東区の福祉避難所」を開設する協定を結んでいます。詳細については現在協議を進めているところですが、大規模災害時には北棟3階を中心に開設予定です。



江東区ホームページより引用



## 〔5〕学校防災教育推進委員会

本校では、学校防災教育推進委員会を設置し、児童・生徒や教職員の安全を守るための方策を専門家の皆様と検討しています。この「墨東防災の学び」にも、委員の皆様の御意見を掲載しています。

### ◆開催日時と内容

第一回 避難訓練見学（大雨洪水） 6月27日（火） 9：30～11：30

第二回 避難訓練見学（引渡し、宿泊防災） 9月29日（金） 14：00～16：00

※今年度は防災教育推進委員に加え、PTA 役員、猿江二丁目会有志の方に総合防災訓練の見学もしていただきました。

### ◆令和5年度外部委員（6名）

|                    |        |   |
|--------------------|--------|---|
| 深川消防署 森下出張所 所長     | 岩崎 哲也  | 様 |
| 深川警察署 警備課 警備係 主任   | 天野 隆史  | 様 |
| 江東区危機管理室防災課 災害対策係長 | 島崎 克己  | 様 |
| 江東区猿江二丁目会 会長       | 神保 恵一  | 様 |
| ダイアパレス猿江恩賜公園 管理組合  | 防災担当理事 | 様 |
| 墨東特別支援学校 PTA会長     | 阿須間 泰子 | 様 |



### ◆防災教育推進委員会や見学会等でいただいた御意見

- 継続して参加しているが、年々、訓練内容が細かいところまで想定して行われている。
- 災害ボックスやフローチャートなど、対応物品が整備されていてとても良い。
- 地域や保護者へも情報提供を行い、共有できるようにしていけると良い。
- 教職員の人数が多く、マンパワーがあることが強みである。その分、受け身になってしまわないように、それぞれが考えて動けるように日ごろから意識していけると良い。
- 訓練は最大人数での想定で行っているのので、最小人数の場合における優先順位やできることを想定していけると良い。
- 電源が必要な児童・生徒が増えている。電源確保をどうしているのか等の情報提供があると良い。

## [6] 訓練の様子「教職員総合防災訓練」

8月22日(火)の午後、教職員による総合防災訓練を行いました。大規模災害時体制の確認として、5つの班で進めた訓練の様子と反省の中で出た課題点と改善策をお知らせします。

### ◆救護班◆

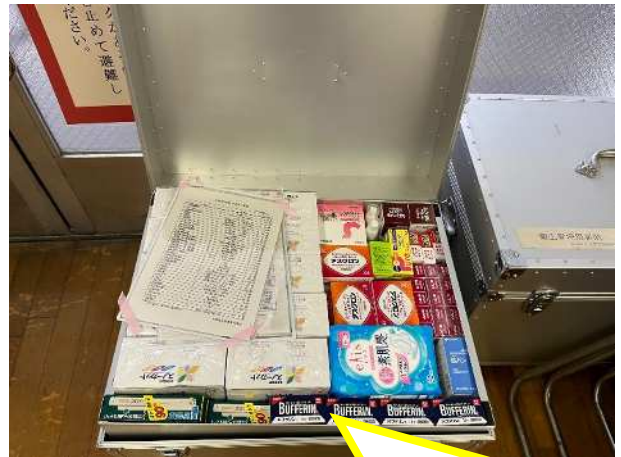
役割：救護体制の整備、医療的ケアの実施  
医療機関との連携

訓練内容：①臨時保健室の設営 ②必要物品の運搬 ③物品の確認

大規模災害時体制になると、2階に臨時的救護室を設営します。救護本部ではけがや体調不良者の対応、医療的ケア室では医療的ケアが必要な児童・生徒の対応を行えるよう、それぞれ物品運びます。また、電源が必要となるため、発電機の設置場所を確認したり、安全性と衛生面を考慮した物品の置き場所や動線を確認したりしました。



経管栄養の備蓄品は、カートにまとめて保管しています。コンテナを増やして、より分かりやすく整理します。



災害時用の薬品備蓄です。今年度入れ替えがあり、保健室が中身の確認をしました。

### ◆課題点と改善策

- 今回、トランシーバーを持っている人が班にいなかったため、全体指示が伝わらなかった。  
⇒生活指導部で割り振りを確認。各ステージで必要な人や場所が変わるので、それらを調整してスムーズに対応できるようにしておく。
- 必要物品の場所でわからないものがいくつかあった。  
⇒年度当初に確認し、マニュアルに記載する。学校環境改善プロジェクトで場所の変更がある可能性があるので、月一回程度で保管場所の確認を行う。
- セラピーマットの有無によって本部と処置室の変更を検討する場合がある。  
⇒教室掲示を行い、誰でもわかるように示す。
- 運ぶ場所がわかりやすくなるようにチェックリストが必要。  
⇒マニュアルのほかに、チェックリストを作成。上記の教室掲示を一緒にしておくことで、教室の変更があっても、混乱せずに運べるようにしておく。

## ◆食料班◆

役割：飲用水・食料の準備、食堂の整備

訓練内容：①災害備蓄食料と調理器具の運搬 ②食堂の設営 ③物品の確認

学校には児童・生徒と教職員用に3日分の備蓄食料と水、調理器具等が配備されています。備蓄食料品等の運搬、臨時調理室や食堂の設営、調理したものの運搬と、役割分担と連携が必要な役割となっています。今回は第一弾として食堂の設営を行い、食堂のイメージを明確にしてから備蓄品の確認を行いました。



体育館に食堂を設営し、災害食料を運びました。水が入ったカートは重量があるため、コントロールが難しいことがわかりました。安全に運搬できるように整備を行っていきます。



災害備蓄品の物品チェックでは、期限切れのものもいくつか残っていました。入れ替えがしやすいように表示方法や積み方等の改善検討をしました。

## ◆課題点と改善策

○備蓄品、調理道具がマニュアル通りに記載されていない。また、カートに乗り切っていない備蓄品もあり、移動する場所や順番がわかりづらい。

⇒学校の環境改善プロジェクトと並行してカートの整理を行う。備蓄品を保管する場所についても検討し、マニュアルに記載する。入れ替えも頻繁にあるので、学校介護職員にも協力してもらいながら、継続的に管理できるようにしていく。

○食料班は①物品を運ぶ→食堂の設営 ②調理する ③食堂に配膳する といった係分担が想定されるが、無線の数があればもっと連携しやすい。

⇒無線の台数は限られているため、計画的に配置している。役割分担や役割内容をわかりやすく示し、それぞれが指示を受けなくても行動できるようにしていく。

○教職員の異動もあるので指揮系統がうまく働かない場面があった。

⇒年度当初にマニュアルを確認する。マニュアルも誰が見ても内容がわかるように整備する。

## ◆インフラ班◆

役 割：ライフラインの確認、発電機・非常用コンセント・簡易トイレ等の設置準備

訓練内容：①物品の確認 ②設置場所の確認 ③発電機の試運転 ④簡易トイレの組み立て  
⑤福祉避難所の設営

「簡易トイレの設置」「生活水の確保」「発電機の作動と設置」の3つが大きな役割となります。今回はトイレ設置と発電機の作動体験の訓練を行いました。発電機の作動体験には、地域住民の方や PTA 役員の方にも体験していただきました。



仮設トイレの組み立てをしました。組み立てには2～3名が必要です。加えて、トイレにある便器にそのままビニール等をつけることで時間短縮になることがわかりました。



本校にはポータブル発電機が12台、ガソリンを使用するものとガスボンベで使用するものがあります。安全に気を付けながら試運転を行いました。

## ◆課題点と改善策

### 【仮設トイレ】

○便器とビニールが別々での保管のため分かりにくかった。

⇒カート内を整理し、1か所に保管。基本セットを作り、養生テープで止めた。

○トイレ設備は既存の物を使えば簡便化できる。

⇒持ち出しがビニール袋と生理用品のみで済む。1か所（男女）5分程度で設置可能

### 【生活用水】

○生活用水用の運搬カートがなく、人手が必要。

⇒カートの確保を検討。仮設トイレが完成したら運搬の手伝いへ行く。

### 【発電機】

○ガソリンを注ぐ容器が一つしかない。運ぶ場所が複数あり、台数もある。

⇒必要数購入（3つ程度）を検討。

## ◆児童・生徒保護班◆

役 割：滞在スペースの確保、健康観察・保育・捜索・救出、各家庭との連絡、情報共有

訓練内容：①滞在スペースの設営 ②物品の確認 ③福祉避難所の設営

宿泊体制になった場合、小学部は体育館、中学部・高等部は南棟2階が待機、宿泊スペースになります。必ず担当が付き添えるとは限りません。チーム学年スタッフとして学年主任を中心に、児童・生徒の情報共有や保健室との連携についても確認しました。



教室にあるマットやクッションの数を確認して、どのような配置にすれば何人待機できるかなどを確認しました。個別に必要な物品もあるので、緊急時はすぐに持ち出せるようにまとめておくことも確認しました。



避難エリアとなる体育館には、パーソナルエリアを確保するためのテントを12張用紙しています。2~3名が入れる大きさで、屋根も着脱可能です。ワンタッチで組み立てられるので便利です。

## ◆課題点と改善策

○教室に待機場所を設営する場合、机やいすなどの教室物品を移動させる場所が必要

⇒エレベーターホールや廊下など、空いているスペースに移動させる。スペースが確保できるよう、日ごろから整理整頓を意識する。マニュアルの地図等に記載する。

○テント設営では、片付けが難しい。

⇒来年度はいくつかのグループに分かれて確認する。

○体育館での待機場所設営では食料班の食堂設営と重なってしまった。また、引渡しの受付も設営が必要なので、スペースや物品移動の動線確保について検討が必要。

⇒生活指導部でレイアウトを検討。マニュアルに詳細を記載。

○体育館の照明が点かなかったり、落下してしまったりした場合の検討が必要。

⇒起こりうる想定について検討する時間を設ける。マニュアルにQ&Aを記載し周知する。

## ◆帰宅支援班◆

役割：帰宅支援ステーションの設置、利用者の対応

訓練内容：①帰宅支援ステーションの設置 ②物品の確認 ③福祉避難所受付の設営

非常時は学校への出入口を児童・生徒玄関に統一します。児童・生徒の引取りに来た保護者や帰宅ステーションを利用する方、福祉避難所利用者等、様々な方が本校に出入りするため、「案内先への動線を分かりやすくするため」また「不審者を校内に入れないため」です。玄関内での各受付の場所や案内先への動線を確認しました。



夜間でも受け入れができるように投光器を設置しています。本校は大通から少し入ったところにあるため、外部の方でも分かりやすいような案内表示が必要となります。



受付の設営では、警察署の方にアドバイスをいただきながら、動線や案内係の配置を検討しました。様々なことを尋ねられることを想定し、受け答えのQ&A集を作成すると良いとのアドバイスをいただきました。

## ◆課題点と改善策

○外部の方もたくさん来るので、分かりやすい掲示物や案内表示が必要。

⇒臨機応変に掲示ができるよう、紙やマジックを多めに準備しておく。

○様々な人が利用するため、誘導係が必要。

⇒マニュアルに誘導する場合の注意点（言葉掛けや立ち入り禁止区域の確認等）を記載する。必要な担当（受付、誘導、物品運搬等）を検討し、適切に配置できるようにする。

○保護者によるお迎え、帰宅支援ステーション、福祉避難所と様々な来校者があるため、受付と動線を明確にする。

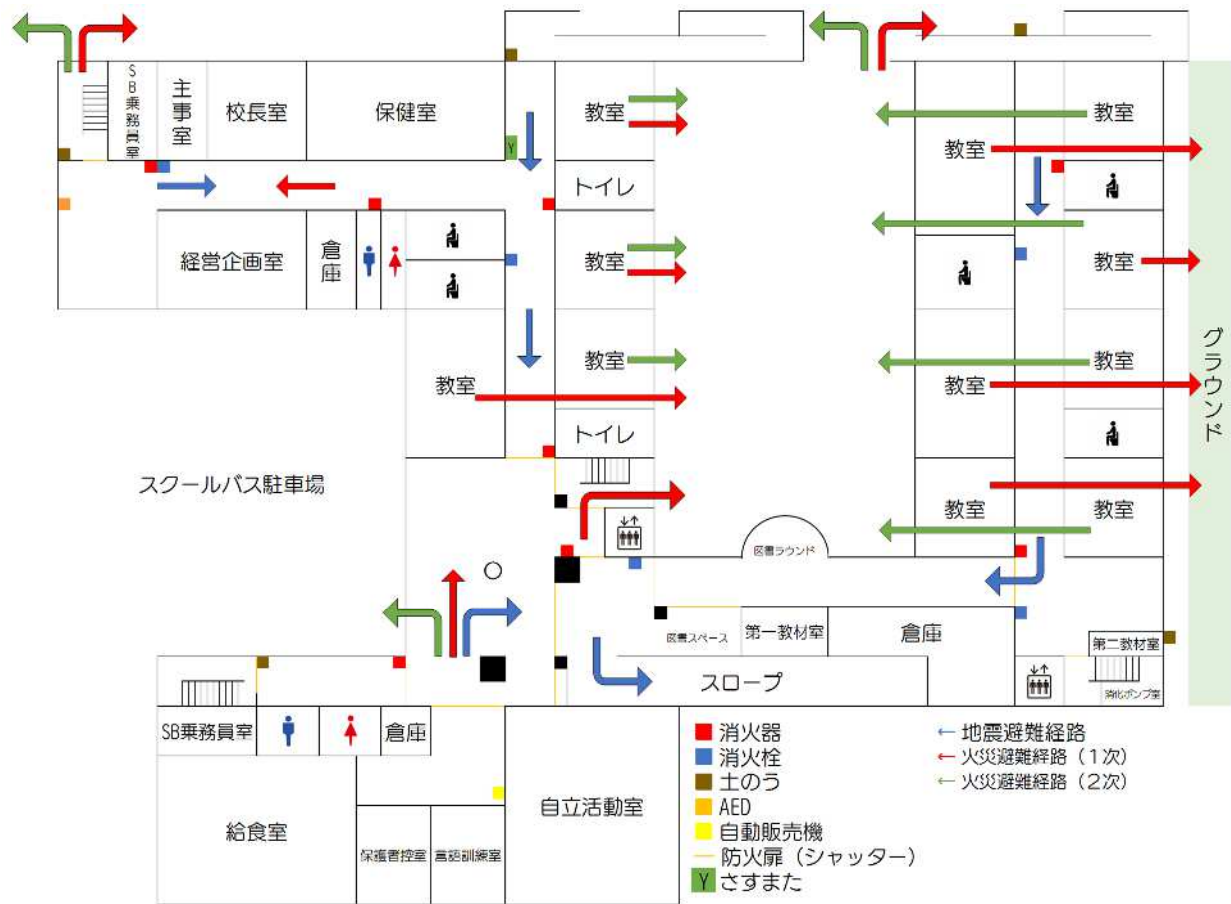
⇒受付や動線を再検討し、実際に設営してみる。写真等でマニュアルに分かりやすく記載する。

○物品の補充が必要。（床だけでなく椅子でも休憩できるようにパイプ椅子、ステーションと分かりやすくするためにのぼりを立てるためのポール等。）

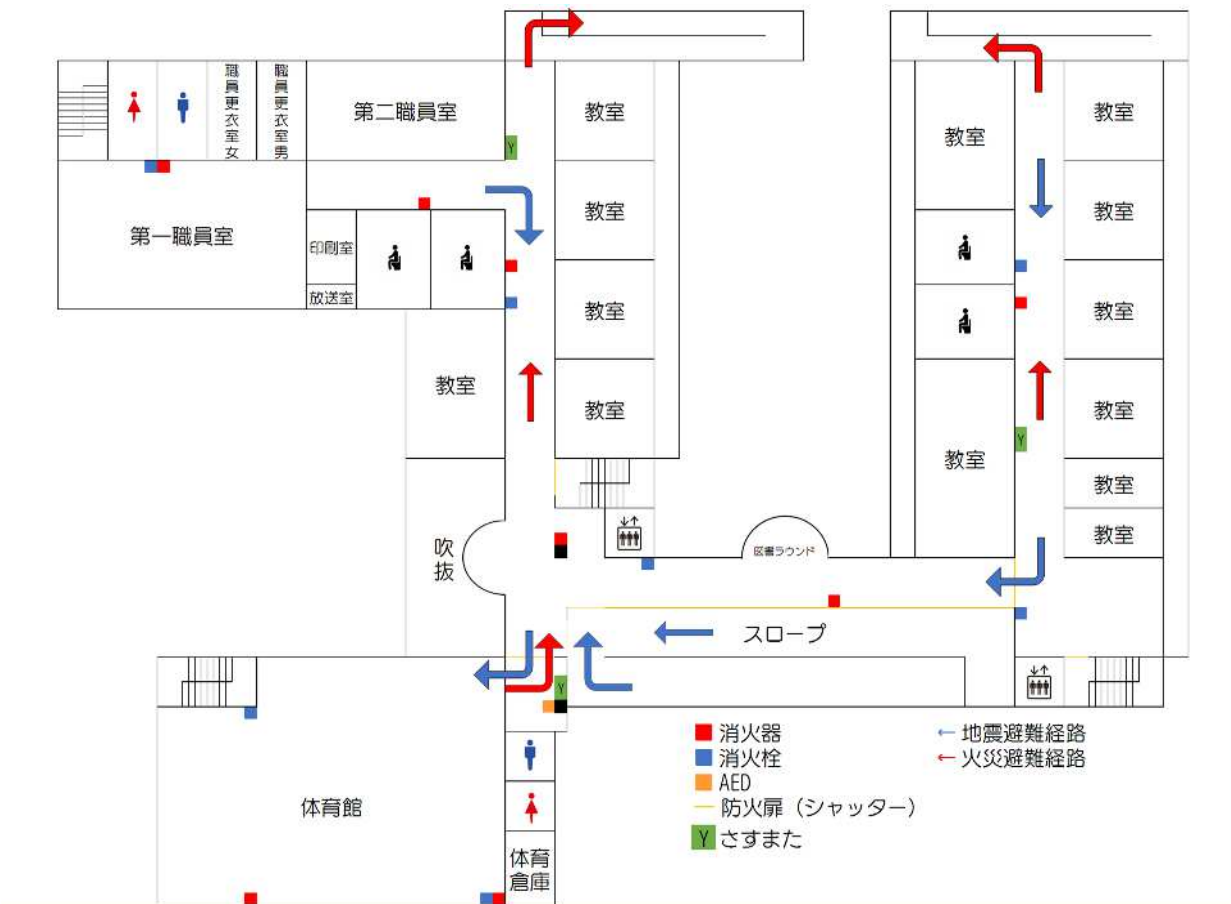
⇒校内に設置している場所を確認し、マニュアル等に記載。運搬用の台車、カート等の置き場も同様。

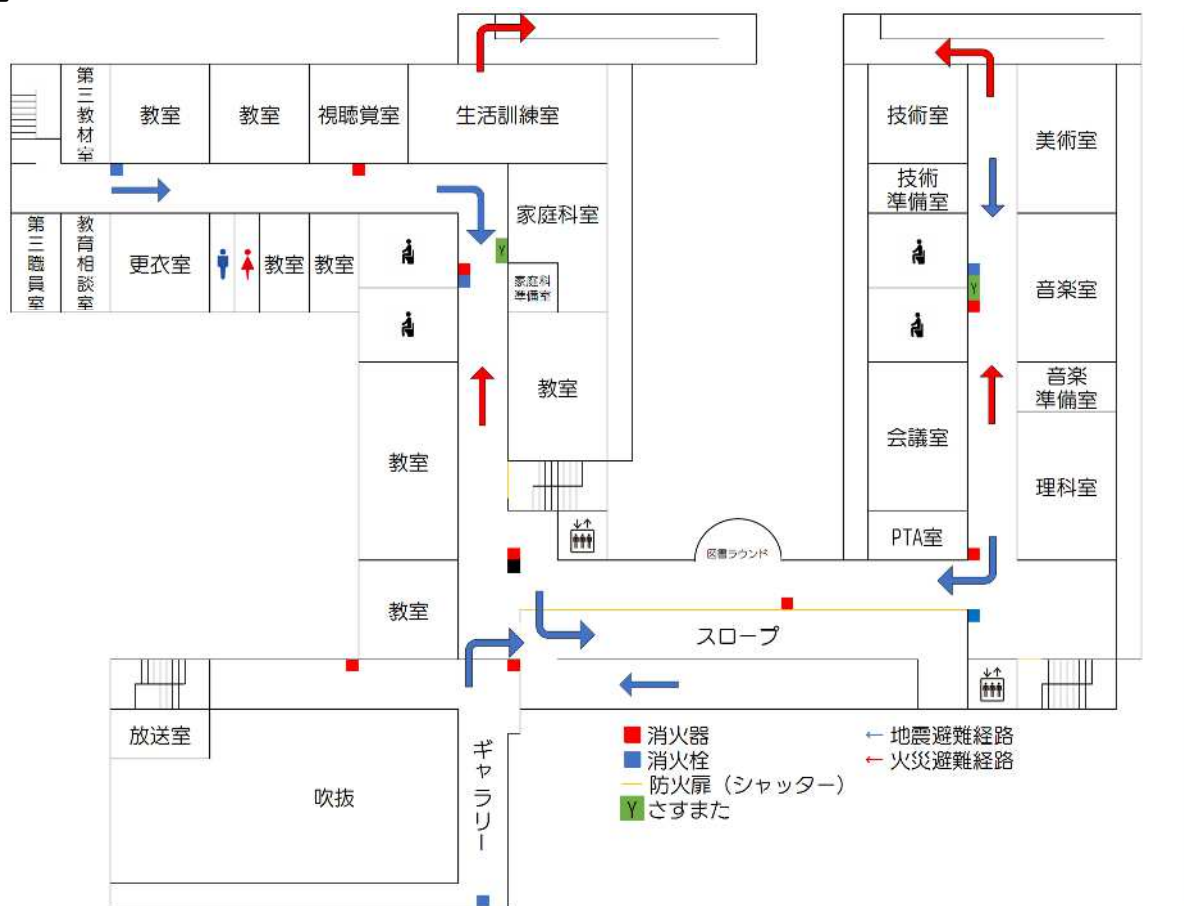
[7] 付録 本校の避難経路と防災用具

1階



2階





## 防災教育通信「墨東防災の学び」【第二号】

### 発行のお知らせ <予告>

第一号では本校における「防災教育の概要」や「教職員による総合防災訓練の様子」等について掲載しました。

第二号では、4年ぶりに再会となった「一泊二日宿泊防災訓練の様子」や「学校防災備蓄品の紹介」について掲載予定です。

10月中の発行を予定しておりますので、お楽しみにしてください。

防災教育通信に対する御意見や御感想、御質問等がありましたら、学校評価アンケートにお願いいたします。

令和5年度 学校評価 墨東特別支援  
学校【保護者アンケート】

